

事務事業名		学校プール濾過器等改修事業(旧名;学校プール改修事業)			会計	一般会計				
課等名		学校教育課 係等名 施設係			事業種別	政策	開始		終了	
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
	施策	22	義務教育の充実							
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校のプール			対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	安全で快適なプール環境を整備				プール施設がある小中学校数	28			
	向上させたい上位施策の成果指標	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合(%) 上段 小学校、下段 中学校				小中学校プール数(濾過機数)	33			
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	実施済小中学校数 (全自動濾過装置設置校数)			19	21	22	27		
	定性目標									
事業概要	<p>○児童、生徒が安全で快適な教育環境下で水泳の授業が行えるよう老朽化プール施設の計画的な改修をする。 現在小中学校合わせて33基のプール濾過装置があるが濾過装置の耐用年数(15年程度)からも順番に更新していくことが必要。</p>									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1 老朽化プールの改修 (1) プール循環濾過装置取替 ① 旭ヶ丘中学校 1基(H23年に1基取替済) ② 鼎中学校 1基 両学校とも珪藻土濾過方法(自然由来の藻類の珪藻を利用した濾過手法)によるフィルター装置の導入により、微細な固形物を取り除くことに対して効果が望まれ、コンパクトで場所を取らず節水効果が高く使用水量も少なくなる。ワンタッチパネルにより操作性もすぐれ水質管理も簡単操作で可能となる。 (2) 次年度以降のプール改修・補修計画に向けての調査を行った。				濾過装置取替			2校		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		15,456	18,240	17,787	18,050					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源		15,456	18,240	17,787	18,050					
人件費計(千円)②		0		858						
正規職員所要時間				240						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		15,456	18,240	18,645	18,050					
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>夏季体育授業の中心である水泳授業の終了後から当該工事を行うため完成は、冬季になる。翌年度の夏に成果として、生徒児童の快適で安全な水泳授業が行える。各小中学校には、プールや濾過器が複数所有している学校もあるため計画的に順次行いたい。</p>									
改革改善の考え方	①問題点	プールの消毒には、塩素などを使用するため、濾過装置の耐用年数は、15年と短い。								
	②改革提案	長期間使用できる製品が求められているので、技術改良等の製品情報収集に努めたい。								